

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2単位 保育の対象の理解	子どもの保健 I B	小泉 武宣	1年次	秋

授業のキーワード	子どもとは?、愛着形成、成長・発達と成育、子どもの権利条約、子ども虐待
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	母子保健の目的、健康の定義、ライフサイクルでみる子どもの捉え方、母子の精神保健、子どもの病気とその予防、子どもの権利条約と保育、子ども虐待防止
履修のアドバイス・前提科目等	子どもの成長発達には遺伝的要因と環境要因が影響するが、ヒトは哺乳類の中でも最も未熟な状態で誕生してくるから、どのように育てられているか(きたか)が重要である。子どもを理解するには子どもだけを見ているのではなく、親との関係性を含めた角度から理解することが大切である。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	母子保健の目的と子どもの捉え方	①母子保健の目的 ②ライフサイクルでみる子どもの捉え方 ③子どもの誕生 ヒトから人へ	第9講	乳幼児の健康と病気	①子どもの状態の把握 ②乳幼児によく見られる病気
第2講	愛着の形成(親子の絆、bondingとattachment、心の安全基地)	①周産期は愛着の曙である ②心の安全基地	第10講	感染症と予防接種	①乳幼児の感染症 ②ワクチンと 定期/任意予防接種スケジュール
第3講	母親の精神保健	①女性の健康管理 ②産後うつ病	第11講	母子保健の主なる統計、子どもの事故	①母子保健で日本はどのような位置にあるか ②母子保健の主なる統計 ③子どもの事故の現状とその予防
第4講	妊娠のメカニズム	①精子・卵子の形成と妊娠 ②不妊 ③生殖医療の進歩と注意すべき問題点	第12講	子どもの権利条約	①子ども権利条約とは ②子ども憲章とは
第5講	胎児の成長と発達 先天異常と児の受け入れ	①胎児の器官形成 ②先天異常について ③妊産婦の心身の変化	第13講	子ども虐待	①子ども虐待とは ②子ども虐待の実体 ③子ども虐待の予防
第6講	新生児の特徴(外界への適応) 低出生体重児とは	①新生児期とは ②小児の出生と外界への適応 ③低出生体重児への気配り	第14講	子どもの保健必修知識と考え方	①子どもの保健必修知識 ②子どもの保健に対する考え方
第7講	乳児期の育児の大切さ	①乳児の特徴 ②母乳育児の奨め ③育児不安へのサポート	第15講	テスト	子どもの保健全般
第8講	乳幼児の生理と発達	①視覚、聴覚、運動、言語、行動、こころ等の発達 ②栄養 ③生活習慣の確立	評価方法		出席状況、記述試験、により総合的に評価
備考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
子どもの保健(改訂第2版)編著:渡辺 博、中山書店					